

資料3

ローソンの 食品リサイクルへの取り組み

2018年11月12日
株式会社ローソン

ローソン会社概要

- **設立:**1975年4月15日
- **資本金:**585億664万4千円
- **事業内容:**「ローソン」「ナチュラルローソン」および「ローソンストア100」のフランチャイズチェーン展開等
- **店舗数:**14,340店(国内)1,953店(海外)
- **出店エリア:**国内47都道府県
海外(中国・インドネシア・ハワイ・タイ・フィリピン)
- **1日のお客様数:**約1,150万人(国内)



私たちは
“みんなと暮らすマチ”を
幸せにします。

これがローソングループの企業理念です。

私たちはマチにあるいろいろな問題を解決し、

お客さまからのさまざまな要望にお応えすることで、

マチの暮らしにとって、なくてはならない存在になります。

私たちは
“みんなと暮らすマチ”を幸せにします。

社会・環境への取り組み



持続可能な社会を実現し、
みんなと暮らすマチを幸せに



社会課題

店の減少	健康不安	少子高齢化
災害激化	環境問題	地域活性

社会・環境に配慮した事業
環境マネジメントシステム



活動を推進するために、
「ISO14001」を活用



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



「基本理念」

私たちローソングループは、
豊かな地球の恵みを次世代へ引き継ぐため、
常に**環境に配慮した事業活動**を行うとともに、
地域社会との共生と持続可能な発展に向けて、
積極的に行動します

ローソングループ環境方針「方針」

1. 低炭素社会の構築に向けて

地球温暖化防止に向けて、事業活動における省エネルギー、省資源、廃棄物の削減に取り組めます。

2. 商品・サービスなどの開発における配慮

原材料の調達から販売、廃棄までの全ての段階において、自然環境や地域社会への影響を十分に配慮します。

3. 社会貢献活動への積極的な参画

地域社会の一員として緑化・美化活動に取り組むなど、社会貢献活動への積極的な参画を進めます。

4. 継続的な改善の実施

環境マネジメントシステムを活用し、目的・目標を定め、継続的な改善により環境保全に努めます。

5. 法令等の順守

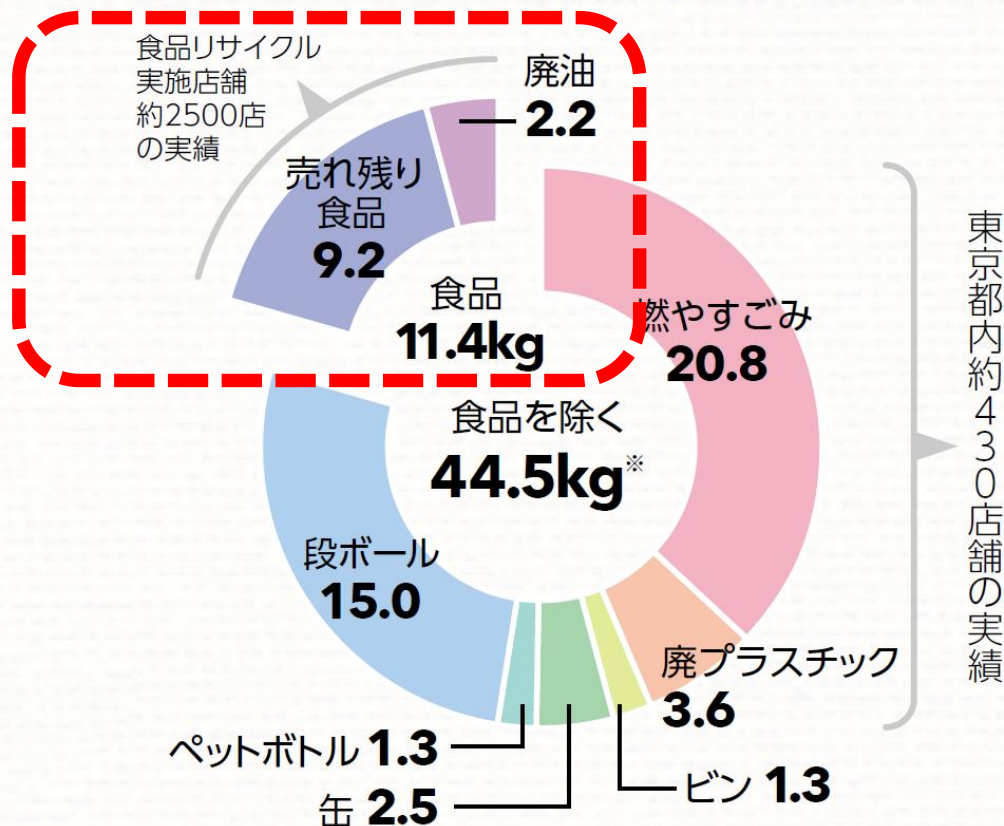
環境保全活動に関連する諸法規及び自ら定めたルールを順守します。

6. コミュニケーションの推進

教育の推進により環境保全に対する意識の向上を図るとともに、ステークホルダーとのコミュニケーションを推進します。

店舗の廃棄物発生量

1店舗1日当たりの廃棄物量推計



【ローソンの廃棄物削減対策】

●発生抑制

リデュース
Reduce

- セミオート発注(計画発注)
Pontaデータ等活用

●再生利用

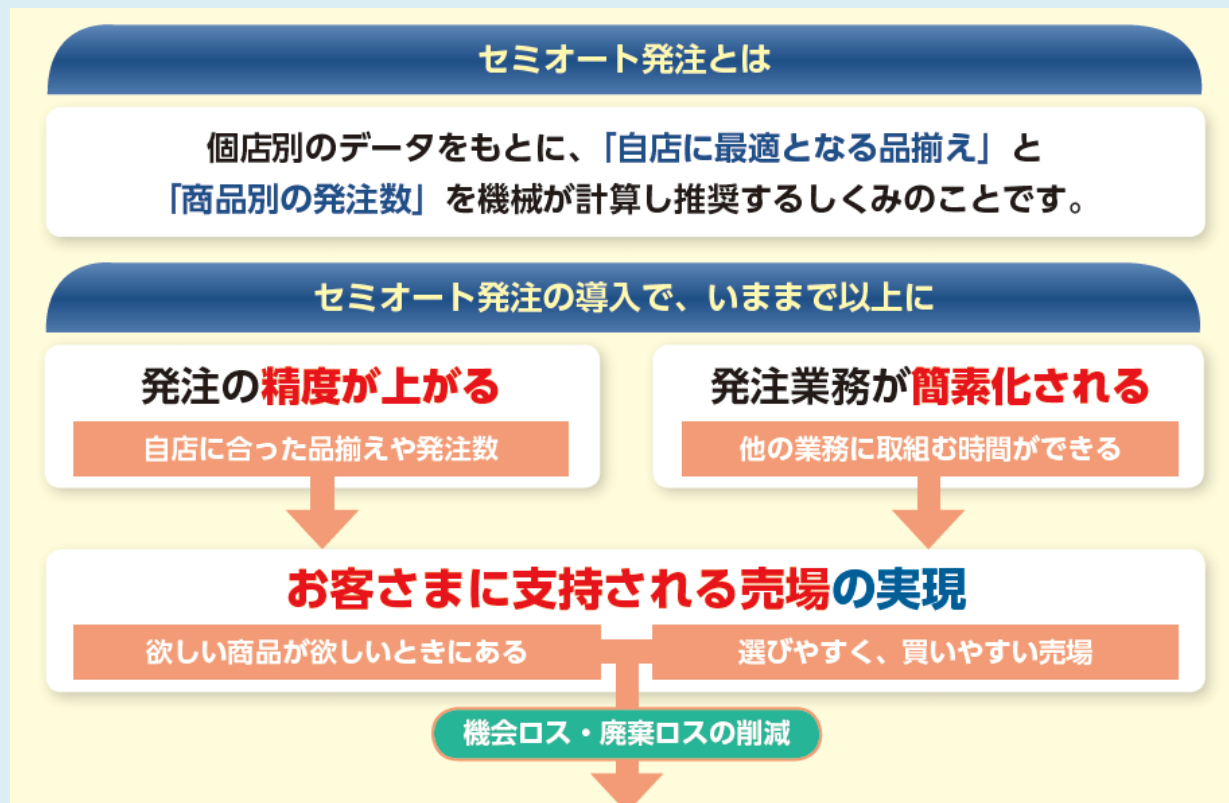
リサイクル
Recycle

- 廃油リサイクル
- 飼料・肥料・メタン化

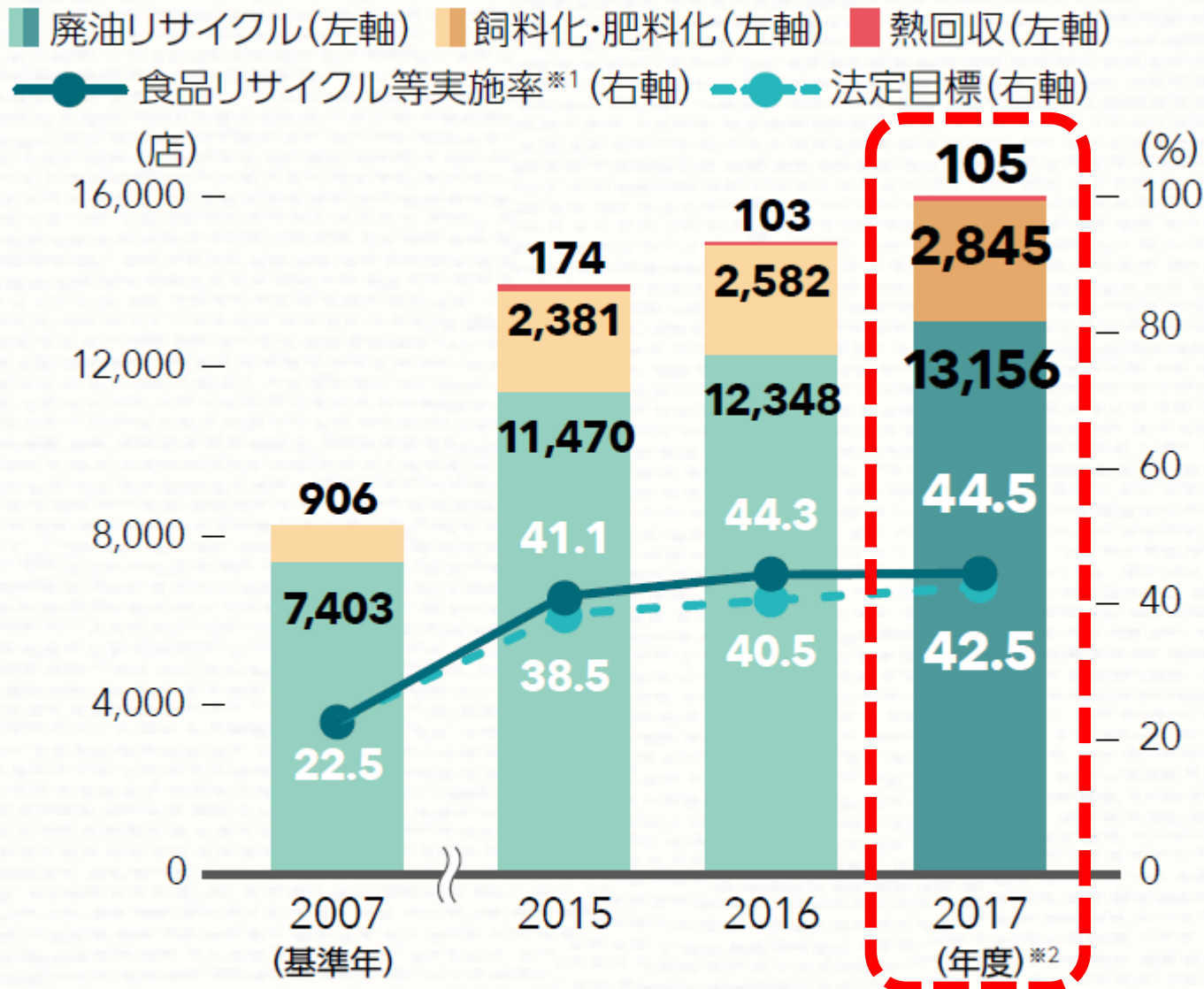
※ 食品廃棄物とそれ以外の廃棄物を合計すると55.9kg

※ 2017年4月1日から2018年3月31日で算定

ローソンでは、弁当やおにぎり、調理パンなどの商品の発注に「**セミオート(半自動)発注システム**」を導入しています。



品揃えと発注数を適正化することによりムダな廃棄を抑制しています。



※1 食品リサイクル等実施率は、(株)ローソン沖縄、(株)ローソン南九州、(株)ローソン高知、(株)ローソン山陰を除いた数値

※2 行政年度に合わせて4月1日から翌年3月31日で算定

食品リサイクルループの構築で地産地消を推進 千葉・茨城県の約200店舗で卵を販売

◎食品リサイクルループの取り組み



店舗(三重県・中部地区)排出の廃油をバイオディーゼル燃料(BDF)にリサイクル。 軽油 代替燃料 B5燃料へ

店舗(三重県・中部地区)

ファーストフード調理後の
廃食油



廃食油回収

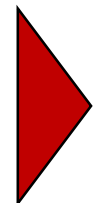


兵庫県:浜田化学(株)

バイオディーゼル燃料

BDF

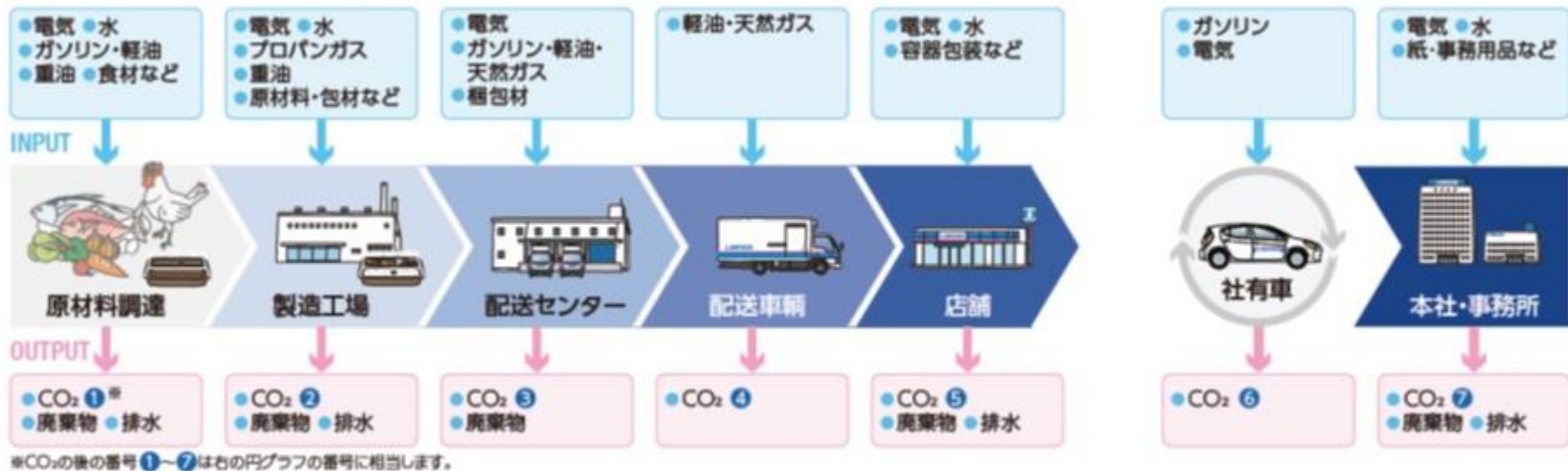
B5燃料



バイオマス発電システム



■ サプライチェーンにおけるマテリアルフロー



地産地消で エネルギー消費削減



郷土のうまい
宮崎の幸 味わい弁当



和栗のモンブラン

レジ袋削減等



ムダを出さない 製造体制



配送車における エコドライブ推進





規格外野菜は店頭に並ぶことなく廃棄されるケースがありますが、**ローソンファームではこれらを加工して惣菜やサラダ・漬物などに利用することで、農産物の有効活用に役立っています。**

● 規格外野菜を使用した商品ラインアップ*



シャキッと! コーンサラダ



海藻ミックスサラダ



犬おやつ
ささみソフト細切り
にんじん・砂肝入り



犬ごはん
鶏ささみと3種の彩り野菜

*掲載商品は一例であり、販売を終了していることがあります。

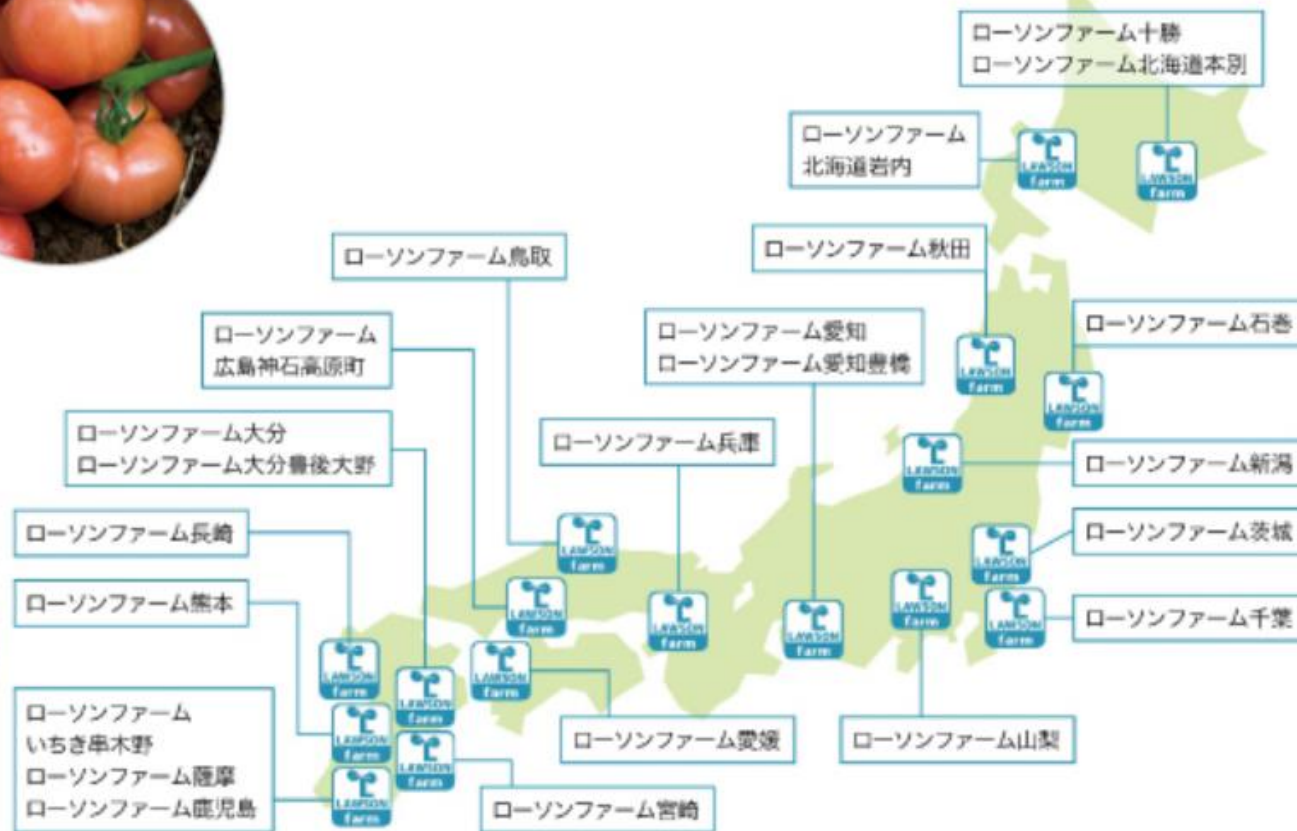


ローソンファームの取り組みで「グリーン購入大賞」の大賞及び農林水産大臣賞をダブル受賞!

ローソンファームでは持続可能な農産物の生産を目指し、環境に配慮した農業の推進をはじめ、野菜加工工場を併設した「流通改革」によるフードマイレージの削減や、従来廃棄していた規格外品の有効活用など、さまざまな取り組みを推進しています。これらの取り組みが評価され、2017年12月7日に、「グリーン市場拡大のためのグリーン購入大賞(第18回)」の大賞及び農林水産大臣賞を受賞しました。



全国に23ファーム展開中（2017年2月末日現在）



農業生産法人「ローソンファーム」を全国23か所で展開

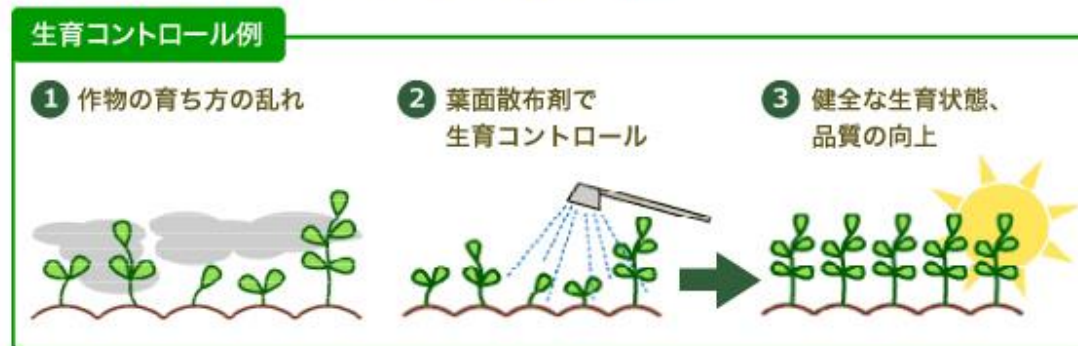


中嶋農法とは土のミネラルバランスを整え、
健康な野菜を育てる農法です。

● 土壌診断に基づく健全な土づくりの技術



● 作物の健全な生育を維持するための生育コントロール技術



中嶋農法認定基準

1. 精密な土壌分析を実施
2. 土壌分析による診断書に基づき、適切な肥料管理を実施
3. 適切な生育コントロールを行い、品質と収穫量の向上を目指す

●JGAP認証取得状況 2017年2月末日現在

ファーム名	申請品目
千葉	小松菜・大根・ニンジン
兵庫	玉ネギ・白菜・レタス
茨城	ぶなしめじ
石巻	ミニトマト・キュウリ・ネギ
大分豊後大野	ネギ
山梨	ぶどう
北海道本別	小麦
愛知	キャベツ・白菜
宮崎	キュウリ
十勝	玉ネギ
北海道岩内	大根
秋田	ベビーリーフ
新潟	米
長崎	リーフレタス・サニーレタス・ネギ・玉ネギ
鳥取	大根
熊本	みかん
薩摩	キャベツ
愛媛	みかん
愛知豊橋	いちご
鹿児島	大根、ニンジン、かんしょ
大分	トマト・ミニトマト
いちき串木野	レタス・リーフレタス

JGAPによりファームの 適切な農場管理体制を構築



登録番号 120000072



ローソンファーム社長会
若手農業経営者が集まり、意見交換などによりお互いの農場管理を高めています

JGAP（Japan Good Agricultural Practice）とは
食の安全や環境保全に取り組む農場に与えられる認証で、農林水産省が導入を推進する農業生産工程管理手法の一つ。

「地域一番店」を目指して



マチの暮らしにとって、なくてはならない存在
「地域一番店」を目指して